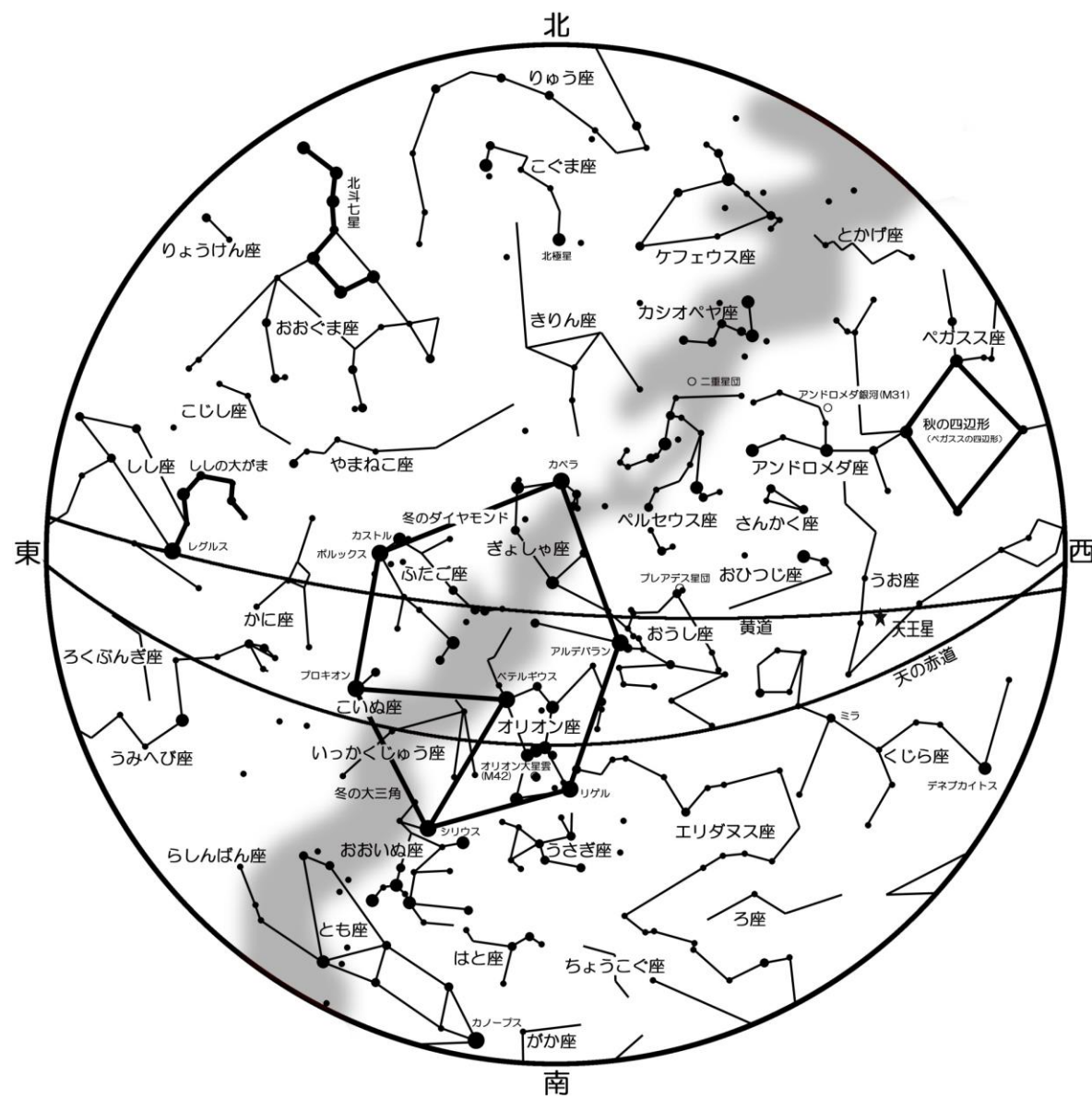


平成30年 2月の星空さんぽ☆ガイド

～ほしを眺めてみませんか～

★2月の星空案内

今月の星座探しは、南の空で輝く、等間隔に並んだ3つの星“三つ星”が目印のオリオン座から始めましょう。”三つ星”の左上で赤っぽく輝く1等星がベテルギウス、右下で青白っぽく輝く1等星がリゲルです。オリオン座の“三つ星”を北西にのばしていくと、オレンジ色っぽく輝くおうし座の1等星アルデバランがあります。反対に“三つ星”を南東にのばしていくと、全天で最も明るく輝くおおいぬ座の1等星シリウスがあります。そして、オリオン座の東側には、こいぬ座の1等星プロキオンがあります。このプロキオン、シリウス、ベテルギウスを結んでできる三角形を“冬のダイヤモンド”といいます。オリオン座のリゲルとベテルギウスを結んだ線を上の方へ伸ばしていくと、明るい星が2つ並んだふたご座を見ることができます。左側の明るい星が1等星のポルクス、右側が2等星のカストルです。その西側にやや黄色っぽく輝いているのが、ぎよしゃ座の1等星カペラです。このカペラを頂点にして、ポルクス、プロキオン、シリウス、リゲル、アルデバランの6つの1等星を結んでできる大きな六角形が“冬のダイヤモンド”です。ぜひ、暖かい格好をして、冬の星空さんぽを楽しまれてはいかがでしょうか。



< 現在見える惑星 >

水星(-1.3 等前後): やぎ→みずがめ座付近	観測に適さない。
金星(-3.9 等前後): やぎ→みずがめ座付近	観測に適さない。
火星(0.8 等前後): さそり→へびつかい座付近	夜明け前、南東の空で輝く。
木星(-2.2 等前後): てんびん座付近	夜明け前、南の空で輝く
土星(0.4 等前後): いて座付近	夜明け前、南東の低空で輝く。

注目の天文現象～月が木星・火星・土星に接近する様子を見よう！～

2月中旬、夜明け前の南東の空には、木星・火星・土星、さらにさそり座の1等星アンタレスが輝いていて、とてもにぎやかな眺めになるでしょう。そして、これら3つの惑星に次々と月が接近します。まずは、2月8日、下弦の月が木星に接近します。翌日の2月9日には火星に接近し、2月11日、月はだいぶ細くなった姿で土星に接近します。この冬は、夜空ではなく、夜明け前の空で惑星たちと月の競演を楽しまれてはいかがでしょうか。

右図の角度は高度を示しており、握りこぶし1つ分が約10°になります。3つの惑星を探す目安にしてみてください。

日	曜	天文現象	日	曜	天文現象
4	日	立春 (06:28)	11	日	火星がアンタレスの北 5° 10' (00:10)
8	木	☾下弦 (00:54)	16	金	●新月 (06:05)
		月が木星の北 4° 17' (04:46)	23	金	☾上弦 (17:09)